

リハビリテーション看護学

必修 開講年次：3年次前期 科目区分：演習 単位：1単位 講義時間：30時間

■**科目のねらい**：様々な疾病や外傷により生じる生活機能の障がいの特徴について学習し、リハビリテーションの観点から看護の役割を理解する。また、疾患や障がいに応じたリハビリテーションの看護援助について学ぶ。

■**到達目標**：①リハビリテーションにおける看護の役割を説明できる。
②生活を困難にしている疾病や障がいの特徴について列挙できる。
③障がいを持つ人とその家族の生活の再構築のための看護支援を具体的に計画できる。
④生活の自立に向けた安全・安楽な看護援助技術を習得できる。
⑤グループで主体的に計画をたて、協力して学修できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎神島 滋子・柏倉 大作・山中 康裕・石井 陽史

■**授業計画・内容**：

- 第1回 講義 コースオリエンテーション
- 第2回 講義 リハビリテーションとはなにか
- 第3回 講義 国際生活機能分類について
- 第4回 講義 リハビリテーション看護におけるアセスメント
- 第5回 講義 疾病の回復過程とリハビリテーション看護
- 第6回 演習/グループワーク
- 第7回 演習/グループワーク
- 第8回 演習/グループワーク
- 第9回 演習/グループワーク
- 第10回 講義 (山中) リハビリテーション医学 (医師からみたリハビリテーション)
- 第11回 講義 (石井) リハビリテーション医学 (セラピストからみたリハビリテーション)
- 第12回 講義 生活の再構築のための支援 (ゲストスピーカー：高次脳機能障害当事者家族)
- 第13回 講義 チーム医療とリハビリテーション
- 第14回 グループワークの発表
- 第15回 グループワークの発表

※この科目はオムニバス授業のため、非常勤講師の都合により日程変更の可能性があります。

■**教科書**：ナーシング・グラフィカ成人看護学⑥リハビリテーション看護、奥宮暁子他編、メディカ出版、2016

■**参考文献**：
・ICF国際生活機能分類-国際障害分類改訂版-、世界保健機構 (中央法規)
・ナーシングセレクション①リハビリテーション看護、奥宮暁子、石川ひみよ他監訳 (Gakken)
・生活の再構築を必要とする人の看護I、奥宮暁子・阿部篤子編 (中央法規)
・生活の再構築を必要とする人の看護II、奥宮暁子・阿部篤子編 (中央法規)
・看護のための最新医学講座27リハビリテーション・運動療法、日野原重明・井村裕夫監修 (中山書店)
・QOLを高めるリハビリテーション看護第2版、貝塚みどり他編 (医歯薬出版株式会社)
・リハビリテーション専門看護、石鍋圭子他編 (医歯薬出版株式会社)
・専門性を高める継続教育リハビリテーション看護実践テキスト、石鍋圭子他編 (医歯薬出版株式会社)
・邂逅、多田富雄・鶴見和子 (藤原出版)
・奇跡の脳、ジル・ポルト・テイラー/竹内薫訳 (新潮社)
・困ってるひと、大野更紗 (ポプラ社)
・重い障害を生きるということ、高谷清 (岩波新書)
・心臓に障害を持つ中学生からのメッセージ-医者を目指す君へ、山田倫太郎 (東洋経済新聞社)

■**成績評価基準と方法**：定期試験60%、授業内課題40%

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
定期試験	◎	◎	○	○	100点満点を60%に換算	60%
演習			○	◎	演習への参加、レポートの提出と評価	15%
グループワーク	○	○	◎	○	グループワークへの参加状況と貢献度・発表	25%
出席					2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：看護観察技術論、基礎看護技術論、成人看護学概論、成人看護援助論、成人看護技術論、症状マネジメント論、疾病治療論など

■**その他 (学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：様々な障害を理解するためには体験記などを読み、当事者の体験を感じましょう。すべての疾患や障害を持つ人にはそれぞれの生活があります。その人の今後を見ずえた生活の再構築への援助 (すなわちリハビリテーション看護) は皆さんのこれからの看護活動の大切な基礎となります。グループワークは様々な障害をもつ個別 (家族を含む) の看護を具体的に考えるための重要な学修です。グループで協力すること自体もチーム医療を考える上での大切な学修の機会と考えて望んでください。